（別紙様式３）

記載内容（例）

養殖業改善計画書

（資材・機材の導入費支援申請用）

令和　年　月　日作成

※示している枠は必要に応じて広げる等して、十分に内容を記入してください。

※記入にあたっては、記載例をご参照ください。

養殖経営体名	（ふりがな）　かぶしきがいしゃ　まるまるすいさん 株式会社〇〇水産
代表者名	（ふりがな）　だいひょうとりしまりやく　まるまる　たろう 代表取締役　〇〇　太郎　　※肩書きも明記する。
所在地	（ふりがな）　ばつばつけんばつばつしばつばつ 123 〒999-9999　××県××市××123 番地
連絡先	TEL：　999-9999-9999 E-mail　abcdefg@abc.com
所属漁協名 （所属している場合のみ）	××漁業協同組合
使用するガイドライン	**使用する養殖事業性評価ガイドラインを〇で囲んでください。** (1.) 魚類養殖　２．貝類養殖　３．藻類養殖 ４．陸上養殖　５．その他養殖 ６．内水面養殖（サケ・マス類、アユ）
養殖魚種名	ブリ

（養殖経営体以外の者が代理し申請する場合は記入）

代理申請者	（ふりがな）
代表者名	（ふりがな）
所在地	（ふりがな） 〒
連絡先	TEL： E-mail：
養殖経営体との関係	

（記入に当たっての留意事項）

以下の設問の記入に当たっては、「養殖業事業性評価ガイドライン」「令和７年度マーケットイン型養殖業等実証事業公募要領」及び「令和７年度マーケットイン型養殖業等実証事業の手引き」を参考に記入ください。

１．あなたの養殖経営に関する現状認識や経営改善の意思等について、「養殖業事業性評価ガイドライン」の第３章「事業性評価の評価項目と評価手法」を参考にしながら、項目ごとに記載してください。

①市場動向 ・養殖対象種の生産及び需給の動向（どのように養殖生産や需給が変動しているか、どの国や地域でニーズが高まっているか、自生産地と他生産地とでどのような違いがあるか等）について把握していることを記載 ・今後の需要の動向について、直近 10 年程度の海外マーケットの状況を踏まえ、関係国の動向を考慮したうえでの事業の見通しを記載 ・国内外の需要動向を踏まえた自社の立ち位置や強み弱み、及び今後の事業計画について記載　等
②経営事業継続力 ・これまでの経営内容（養殖生産及び販売実績、加工や販売・輸出との関わり等）について記載 ・どのような計画やコンセプトで養殖経営に取り組んでいるか記載 ・経営を継続していくために現在取り組んでいること、これから取り組もうと考えていること（経営の効率化、体制づくり、人材確保・育成等）について記載　　等
③販売力 ・安定的な販路（どういった取引先があるのか、不測の事態でも安定して取引が継続できるか等）について記載 ・ブランド化や加工等の独自の販売戦略について記載 ・新たな販路開拓に取り組んでいるか記載　　等
④動産価値 ・自社製品の特長や強みについて記載 ・在庫調整も含めた出荷コントロールが可能か、相場変動に左右されにくい販売が可能であることを記載 ・取引先等のニーズ（時期・サイズ・量）に応じた養殖魚の生産・出荷が可能であることを記載 ・養殖生産物の価格の将来予想について、過去の水揚げ量・金額、流通価格等を踏まえて記載　等
⑤品質管理・生産管理 ・生産管理のための取組（種苗の調達、餌の工夫、病気への対応等）について記載 ・給餌・投薬等の生産記録を保持しているか、どのような項目を記録しているか記載 ・トレーサビリティ確保への対応状況について記載 ・認証や規格の取得状況について記載　　等
⑥リスク管理・対策 ・天災や病気等による被害を最小限にするために工夫していることを記載 ・共済制度や損害保険への加入状況を記載　・保有している商標登録情報を記載 ・市場価格の変動に左右されないような販売の工夫（商品開発、ブランド化による付加価値向上等）について記載　　等
⑦事業性評価の結果を踏まえた各項目の改善点等について（上記の項目番号ごとに記載） ①事業性評価で得られた改善すべき点や評価された点を記載しつつ、それを踏まえて、どう改善すれば市場の動向に対応できるかについて記載　　等 ②事業性評価で得られた改善すべき点や評価された点を記載しつつ、それを踏まえて、継続力を今よりも高めるためにどのような体制づくりが必要か記載　　等 ③事業性評価で得られた改善すべき点や評価された点を記載しつつ、それを踏まえて、改善点をクリアすることで販売面においてどのような効果が期待できるか記載　　等 ④事業性評価で得られた動産価値についての追加情報や、将来予想価格について記載　　等 ⑤現在行っている品質管理・生産管理についての事業性評価機関からの評価や評価を受けて今後取組む内容を記載　　等 ⑥事業性評価の結果明らかとなったリスク等に対し、今後どのような対策を講じていくか記載　等 **※本項目も審査対象となりますので必ず記入して下さい。**

２．マーケットイン型養殖業を実践するため、①養殖の生産から加工・流通・販売に至るまでの取組として具体的に何をしていくのか、②需要を意識してユーザー（消費者、量販店、外食、市場等）と具体的に何をしていくのかという２つの視点から記載してください。

なお、取組を他の養殖経営体などと連携して行う場合には、その形態と連携先の名称を具体的に記載してください（別紙図示等可）。

①・需要に応じた養殖業（マーケットイン型養殖業）を実践するために、養殖の生産・加工・流通・販売の各段階で今後新たに行っていくことを記載
・生産から加工・流通・販売までが一体のものとして考えたバリューチェーンで付加価値を高めるため、どのような点を改善・強化していく考えか記載
・出荷先との連携がある場合は、どのような役割分担で連携を強化していくか記載　　等

②・どういった手法でユーザーの需要を把握して、得られた情報をどのように生産等へ反映させていくか記載
・需要に応じた養殖業へ転換するため、どのような生産体制及び販売体制を整備するか記載
等

事業性評価の結果を踏まえた改善点等について
①自社養殖生産物のバリューチェーンについて図示し、現状のバリューチェーンにおける課題点について記載
事業性評価の結果をもとに、マーケットイン型養殖業の実現のため今後必要となる生産・加工設備や体制作りについて記載　　等

②販路の拡大に繋げられる可能性のあるユーザーについて示した後、今後それらに対しどうアプローチをしていくか記載
需要に応じた養殖業へ転換する際に発生する課題に対し、どのような対策を講じるか記載
等

※本項目も審査対象となりますので必ず記入して下さい。

（注）設問を記入するに当たり、「養殖業事業性評価ガイドライン」の第１章・第２章（内水面養殖業においては、第１章・第２章、第３章）を参考としてください。

３．貴経営体の体制について項目ごとに記載してください。

①業務実施体制
・社内体制（養殖生産体制）について記載
・養殖漁場の所在地、従業員数、情報共有体制等を記載（必要に応じ会社パンフレット等を添付）
・養殖生産以外（加工等）も行っている場合はそれもわかるよう記載
等

②会計処理体制
・社内体制（会計処理体制）について記載
等

③事業性評価の結果を踏まえた各項目の改善点等について（上記の項目番号ごとに記載）
①養殖生産体制について最新のものに更新するとともに、事業性評価で得た改善点とそれに対する改善策について記載　　等

②会計処理体制内における課題点と解決の為必要な事項について記載　　等

※本項目も審査対象となりますので必ず記入して下さい。

４．　養殖を行う施設の全体規模がわかる図面及び写真を添付してください。　【追加資料】

養殖を行う施設の図面及びや写真・画像

を添付してください

５．現在の施設等の状況を記載してください。【追加資料】

施設名	所有者（個人・共同利用の別）	使用者	規格	施設数	備考（活用した事業名・時期等）
養殖施設	各施設の名称についての所有者を記入ください	使用者の名称を記入ください	規模、概要がわかる内容を記入ください	数量を記入ください	他の補助事業を活用した経緯がある場合に記入ください
陸上施設					
その他関係施設	（船舶を含む）				
資材・機材					

６－１．導入予定の資材・機材のリストを作成し、マーケットイン型の養殖業への転換にそれぞれの資材・機材の導入がどう結びつくのか示してください（書式例３）。また、導入した資材・機材を活用しどのような実証事業に取組むのか記載してください。

〇導入予定資材・機材のリストと導入による効果（書式例３を作成・貼付）

（書式例３）

導入予定 資材・機材のリスト

養殖経営体名

養殖種類

魚 種 等

No.	資材・機材名	性能、形状、主要材質等	数量・金額（税抜）		導入時期	導入による効果　※必ず記入すること
1			単価			
			数量			
			合計			
2			単価			
			数量			
			合計			
3			単価			
			数量			
			合計			
4			単価			
			数量			
			合計			
5			単価			
			数量			
			合計			
	合　　計					

※導入する資機材がマーケットイン型養殖業への転換に結びつき、どのような効果が得られるかを必ず記入してください。

○取組む実証項目

No.	取組内容	取組内容に対する定性的な目標
1	・生産効率の向上 ・生産物の品質向上 ・販売先の拡充・販路開拓 ・適正な生産管理体制の徹底 ・養殖魚種の追加・転換 等	・作業の効率化 ・病気に強い魚の生産 ・高鮮度・高品質化 ・給餌効率の向上 ・生産量・売上の向上 ・加工品販売の展開 等
2		
3		

※枠は適宜追加してください。

※導入予定の資材・機材が、定めた目標の達成にどのように寄与するかを必ず明記すること。

※補助事業対象外であるがマーケットイン型養殖業への転換のため取り組む事項がある場合は、それについても記載すること。

６－２．資材・機材導入後の生産計画を記入し、貼付してください（書式例２）。

養　殖　生　産　計　画　書　　（書式例２）

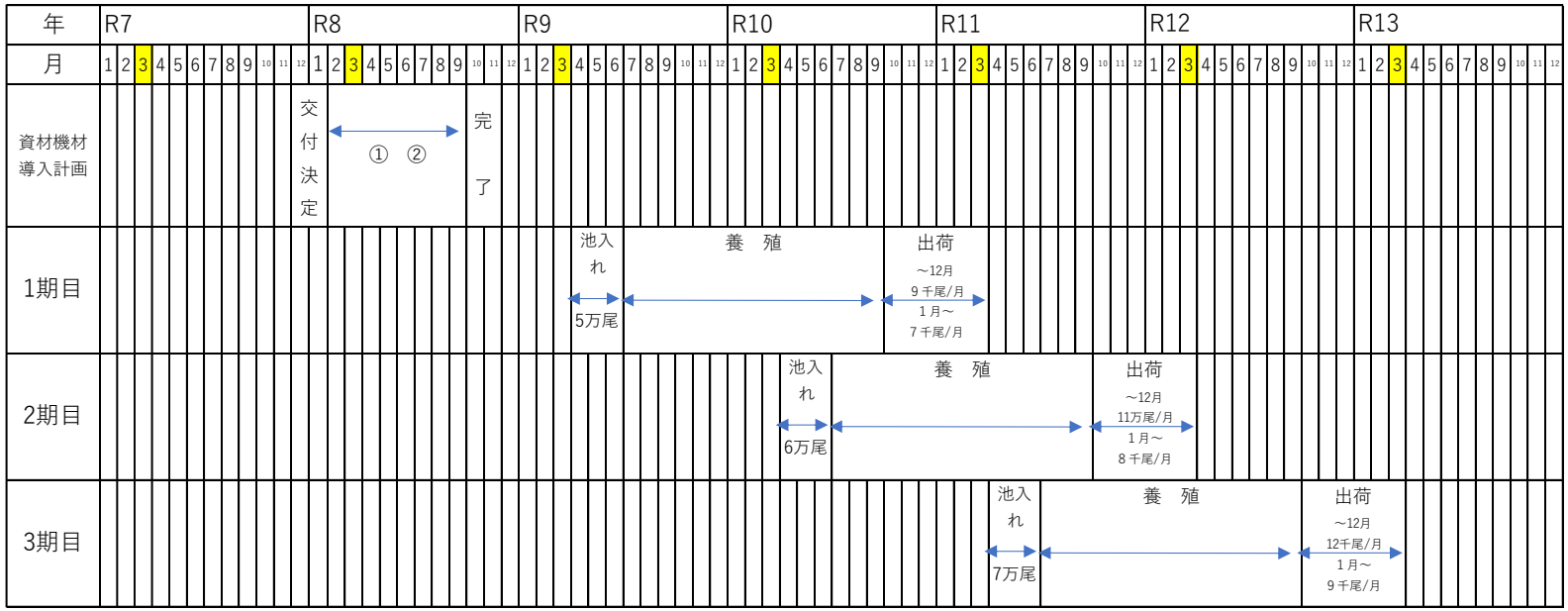
↓事業実施者名を入力してください。　↓ドロップダウンリストから選択してください。

事業実施者名	(株)〇〇水産	養殖種類	魚類養殖	ブ　リ
	決算期	3月		

↑魚種(養殖種)名を入力してください。

↑決算月を入力してください。

【計画】



【導入予定の資機材】　①浮沈式生け簀　②自動給餌装置

６－３．６－１及び６－２に記入した内容を踏まえ、今後５年間の収支計画がどうなるのかを示しつつ（書式例１）、その理由を記載してください。

〇収支計画（書式例１を記入・貼付）とその理由を記載

養 殖 業 収 支 計 画 書

養殖経営体名
養殖種類
魚 種 等
決算月

（単位：トン、千円）　（税込）

	科目	現状	１年目	２年目	３年目	４年目	５年目
	年						
収入							
	（売上数量）						
	売　上　高						
	収入合計　a						
支出							
	人　件　費						
	燃　油　代						
	種　苗　代						
	餌　料　代						
	漁　具　費						
	保　険　料						
	公 租 公 課						
	販 売 経 費						
	そ　の　他						
	一般管理費						
	減価償却費 b						
	経費合計 c						
損益 d=a−c							
償却前利益 e=d+b							

今後５年間の収支が上記のようになる算定根拠（※）とその理由を明記。

※算定根拠の例
　売上高＝単価〇円／kg×生産量〇kg
　種苗代＝単価〇円／尾×〇尾
　餌料代＝単価〇円／kg×〇kg（必要数量は増肉計数等から算出でも可）
　そのほかの費目についても根拠を記載。

６－４．６－１～６－３に記入した内容を踏まえ、目標（KPI：Key Performance Indicator）を設定し、定量的に示してください。
なお、経営改善に関する指標（粗利率の改善等）については必須項目とします。

No.	項目	現状	目標（KPI）
1	粗利率	○○%	１期目　○○% ２期目　○○% ３期目　○○%
2	販売単価、販売先の件数、出荷数量、出荷金額、飼料効率、経費削減 等	○○円/kg 等	１期目　○○円/kg ２期目　○○円/kg ３期目　○○円/kg 等
3			

※枠は適宜追加してください

７－１．本計画に基づく実証事業の成果を個人情報や企業秘匿に関することを除いて公表することに同意し、養殖業成長産業化の取組に協力できますか。

・はい　　・いいえ

７－２．事業性評価を実施した評価機関を記載してください。

○×△評価研究所

７－３．事業性評価の実施を通じて、貴経営体の強み・弱みの把握が期待出来ますが、この評価を受けて今後の事業に活用していく意思はありますか。

・はい　　・いいえ

７－４．事業性評価を活用して、金融機関からの融資を受ける予定はありますか。

・はい　　・いいえ

７－５．導入する資材・機材は、マーケットイン型の養殖業への転換に直接必要なものであり、従来設備の更新や、単純な増産のためのものは支援の対象外となります。そのようなものが含まれていないこと、また生産規模に対して適正な設備となっていることを確認しましたか。

・はい　　・いいえ

８．（別紙）令和７年度マーケットイン型養殖業等実証事業公募要領に記載の「補助金に応募する際の注意点」を確認し、その内容について理解しました。

・はい　　・いいえ

（注１）　本様式に記入する以外に参考となる資料を添付していただくことは可能です。
（注２）　本様式によらず独自の書式で申請することは可能です。その場合は本様式で求めた質問事項を満たしていない場合、形式要件が満たされていないとして採択不可となります。